

鉛筆デッサン

出題意図

本学科の鉛筆デッサンの試験では、観察力と表現力のバランスがとれている作品を相対的に評価します。

今年も机上デッサンでした。モチーフは手に取って観察し、自らが組み合わせて構成できるように、受験生それぞれに配付されます。見るだけでなく、さわったり加工したりできることも特徴です。受験生がモチーフとの積極的な関わりから何を見つけ、何に注目したのか、そしてそこで発見した面白さをどのような構成で表現するのかを見るための出題でした。しっかりとした観察を基に描かれたデッサンは、何がどうなっているのかが誰にでも伝わる魅力的な作品になると考えるからです。

評価のポイント

難しいモチーフでした。形も質感も複雑なブロッコリー、どんな形にも変えることができる鉛板、そして手。

見て・さわって・感じたそれぞれの素材の違いを、どのように組み合わせて表現するかがポイントです。

たとえばブロッコリーを切断するとします。切断の方向で断面の形は変わります。表面と断面の色にも違いがあります。鉛板は、曲げる・丸める・折る・ちぎるなどの加工によってその姿を変えます。こうした行為で形をかえたモチーフのどこに興味を持つのか、モチーフと触る・つかむ・握る・押さえる・引くなどの手の仕草との組み合わせをどのようにするのか。

さらに空間的な配置の工夫、画面の余白への配慮・光線の方向の選び方など構成力も重要になります。見つけたことを、3時間という時間内にバランス良く表現した作品を相対的に評価しました。

平成19年度 入学試験問題

造形学部 視覚伝達デザイン学科

鉛筆デッサン (3時間)

【問題】

与えられたモチーフ①鉛板と②切断されたブロッコリーの一片と自分の手を自由に構成し、それらをよく観察して、与えられた画面に描きなさい。

〔条件〕

1. 画面上に与えられたモチーフと手が必ず描かれていること。(部分でも可)
2. 鉛板は自由に加工してよい。
3. ブロッコリーは、カッターで切断しても手でちぎってもよい。
4. 鉛板とブロッコリーを机上に置いて描いても可。
5. 画用紙は縦横自由。
6. 目隠しカードの上に天地を示す矢印を必ず書くこと。
7. 包装材はモチーフではない。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. B3画用紙×1枚
3. 鉛板×1
4. ブロッコリー×1
5. B4上質紙(下書き用)×1枚

《禁止事項》

答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

注意) 鉛は人体に影響を及ぼす事があるので、嚥んだりしないこと。また、試験終了後は、良く手を洗うこと。





视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



植菜の手の握り部写実



植菜の手の握り部写実



植菜の手の握り部写実



植菜の手の握り部写実



植菜の手の握り部写実



植菜の手の握り部写実



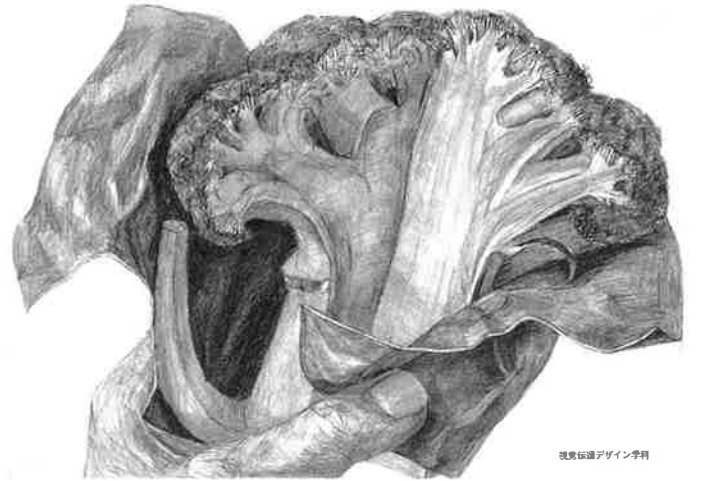
視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科

デザイン

出題意図

配付された資料は一般的な英和辞書の「space」のページです。それを参照した上で、配付された素材（切り文字の「S」「P」「A」「C」「E」）を用いて各人の解釈し選択した「space」という言葉の意味やイメージを表現することを求めています。

「space」という言葉には空間や間、あるいは宇宙など様々な意味があります。また与えられた素材は紙でできておりそれらを実際に配置、変形し「space」をつくり出し観察することもできます。与えられた素材や資料を用いてどこまで自らの考えた「space」の意味やイメージが表現されているかを見る問題です。

評価のポイント

この問題は与えられた素材に積極的に働きかけ、よく観察する中から独自の形（この場合には「space」のかたちやイメージ）を発見し表現することを求めています。資料を配付したのは「space」という言葉の意味を幅広く捉えてほしいという理由からです。答案用紙には必ずしも「SPACE」という単語を並べることは求めています。

与えられた素材をテーブルに置いたり、触ってゆがめたり、重ねたりすることでかなり複雑な空間や間「=space」をつくり出すことができます。つまり与えられた素材そのものが「space」を含んでいるのである意味では大変シンプルな課題といえるでしょう。しかし受験生の「space」に対する各自の解釈に対し、それを平面上での色彩と形態を通して明解な説得力を持って表現するのは素材がシンプルであるが故に高度な問題だとも言えます。

結果的には多様な「space」に対する解釈と表現を見ることができ、受験生のレベルの高さを感じました。高得点の作品は素材のつくり出す形への観察と自らの「space」への解釈が明解に一致し、かつ的確に表現されているものでした。逆に評価が低かった作品は単に素材を並べるだけか、あるいは「SPACE」という単語をポスターのロゴのように用いることで逆に説明的になり過ぎたものでした。

平成19年度 入学試験問題

造形学部 視覚伝達デザイン学科

デザイン (3時間)

【問題】

英単語「SPACE」には、配付した資料Aから読みとれるように多くの意味がある。与えられた構成材料を用いて「SPACE」を表現しなさい。

【条件】

1. 構成する材料は与えられた切り文字「S」「P」「A」「C」「E」のみを使用すること。ただし配付した切り文字をそのまま画面上に使用してはならない。
2. 素材である各文字は、全体や部分の使用、また拡大、縮小などの変形も可とする。また複数使用も可とする。
3. 配付した答案用紙全体を描画面とし、横位置にて使用すること。
4. 色数は自由、余白は白とみなす。

【配付物】

1. 試験問題
2. 資料A
3. 「S」「P」「A」「C」「E」の5文字
4. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
5. B4上質紙（下書き用紙）×3枚

【禁止事項】

答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

space /spéis/ [「何もない空間」が本義] ㊦ spacious
(形)

—名 (㊦ spac·es/-iz/) 1 ㊦ 空間 || time and ~ 時間と空間 / look up into ~ 空(空)を見上げる。

2 ㊦ 宇宙, 宇宙空間(outer ~); [形容詞的に] 宇宙の || The rocket hurtled through ~. ロケットが宇宙を突き進んだ。

3 ㊦ [通例複合語で] […の/…するための]場所; 座席; ㊦ 余地, 余白(room); 紙面[for / to do]; [しばしば ~s] 空いた土地 || open ~s 空地 / a parking ~ 駐車場 / clear some ~ 片づけて少し場所をあける / fill in the blank ~s on the form 用紙の空欄に書き入れる / Is there (enough) ~ for another person? もう1人分席がありますか / This table takes up too much ~. このテーブルは場所を取りすぎる。

4 ㊦ 間隔, 距離, スペース || Leave a ~ after that word. その語のあとにスペースを置きなさい。 5 [a/the ~] 時間, 期間; [a ~] しばらくの間; ㊦ [テレビ・ラジオ] コマーシャルの時間 || for a [the] ~ of five years 5年間 / The irises wilted in [during, within] the ~ of a day. アイリスは1日ではぼんだ(◆ in a dayの方が普通)。 6 ㊦ [印] スペース(語間などの詰め物); 字[語, 行]間, スペース; [音] 線間。

Watch this space. 乞ご期待(◆ 新聞記事; もっと興味深い情報が近日中に掲載されるということ)。

—動 ㊦ 1 <物>を一定の間隔に置く[配置する]; <事>を一定間隔で行なう; <活字>の語間[字間]をあける(+out) || ~ [(米) spread] the flowers out evenly 花を等間隔に並べる。 2 (主に米略式) [be ~d] <人が>麻薬で罠される[ハイになっている]; 注意を払っていない(+out)。

「ジーニアス英和辞典(第3版)」大修館書店より掲載



SPACE



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科



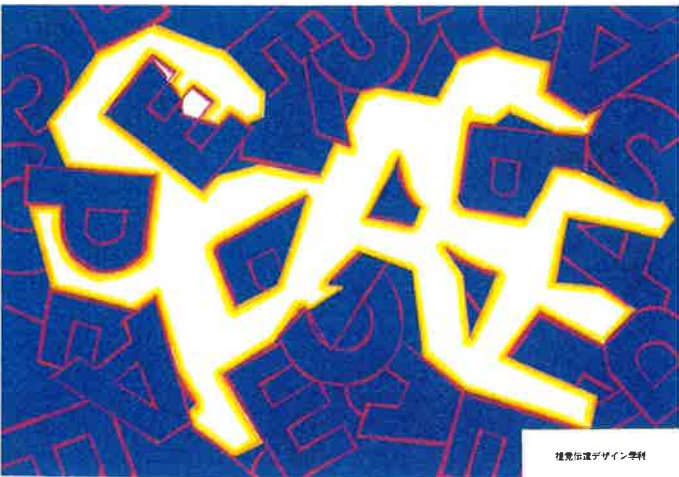
視覚伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科



视觉伝達デザイン学科